



大内中だより

さつきの丘

【学校教育目標】

「あいさつ日本一を目指して」

令和5年12月20日 第36号

アウトメディアチャレンジ（3回目）の結果

11月下旬に実施した3回目の結果について、過去2回と比較しながらお伝えします。

・1年生	6月	7時間38分	→	9月	4時間29分	→	11月	5時間04分
・2年生	6月	8時間24分	→	9月	8時間26分	→	11月	7時間18分
・3年生	6月	6時間28分	→	9月	5時間41分	→	11月	4時間23分

これまで変化が見られなかった2年生が減少に転じています。1、3年生は、学年平均値で、1日1時間程度を維持しています。

前回までの調査と異なる点は、Aコース（0分）やBコース（30分）への挑戦者が増えたことです。1年生の24%、2年生の14%、3年生の29%の生徒が、さらなるメディアコントロールにチャレンジしました。なお、コース目標の達成率は56%で、2人に1人が達成できたこととなります。

次回のアウトメディアチャレンジ（4回目）は2月を予定していますが、テスト期間の有無に関わらず、普段からメディアコントロールで時間を生み出し、その一部を家庭学習等にあてるよう心掛けてほしいと思います。これからも、メディアとの付き合い方について、是非ご家庭で話題にしてください。



【栄光の記録】

○第46回秋田県アンサンブルコンテスト中央地区予選
管打楽器7重奏 「花のプロフェッショナル」

銀賞

全国学力・学習状況調査の結果（本校の成果と課題等）

各教科

※○印は成果、▲印は課題

国語平均正答率 74%（秋田県比±0） 数学平均正答率 53%（秋田県比+1.0）

英語平均正答率 39%（秋田県比-5.0）

英語（話すこと）平均正答率 7%（全国比-5.4）※秋田県比は無し

国語 ○「話すこと・聞くこと」において相手の述べ方の工夫とその意図を正しく理解している。
○古文と現代文を比較して工夫部分を正しく指摘することができている。

▲文章の推敲の意図を理解すること。

▲内容のまとまりに適切な見出しを付けること。

数学 ○設問15問中、半数以上が県平均正答率を上回っている。

○領域別にみると、「数と式」「データの活用」の領域において県平均を上回っている。

▲他領域と比較して、「関数」領域が県平均を下回っている。

▲短答式の設定問では、県平均を上回っているが、選択式の設定問では県平均を下回っている。

英語 ○他領域と比較すると、「聞くこと」における正答率が高い。

▲「話すこと」において、5問中4問で全国平均正答率を大幅に下回っている。

▲「書くこと」の、書き手の意見に対する自分の考えと理由を書いたり、話題に沿ったまとまりのある英文を書いたりする設定問において正答率が低い。

生徒質問紙

○県平均と比較して、「当てはまる」あるいは「肯定的回答」をした割合が10%以上高い項目

質問(5)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

質問(6)「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」

質問(12)「学校に行くのは楽しいと思いますか」

質問(29)「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

質問(32)「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」

▲質問(17)「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾等を含む）」に対して、1時間以上の割合が県平均と比べ、16%程低い。